

診療局：内科《総合内科・感染症内科》

ースタッフ紹介ー

役 職	スタッフ名
総合内科・感染症内科部長 兼感染症センター長 兼院内感染対策室長兼産業医	倭 正也
膠原病内科部長 兼リウマチセンター長	入交 重雄
医 長	葛城 有希子
医 員	岩井 優美
医 員	山本 雄大

総合内科・感染症内科

ー概要ー

現在の医療は高度の専門化が進んでいる一方で、様々な病気を併せ持つ患者に対して「全人的医療」を行うことのできる医師が少なくなっている。そこで当院では2013年4月より総合内科・感染症内科を新たに立ち上げ、診断のついでない症状ではじめて当院を受診され、どの専門科を受診すればよいかわかりにくい患者に対して、専門分野を横断的に診療する幅広い総合診療を行っている。さらにその際に感染症および膠原病の診療を行う機会も多く、これも当科にて診療を行っている。

具体的には、一般内科疾患全般（内科救急疾患を含む）をはじめ原因不明の持続する発熱（不明熱）、関節痛などといった症状を持たれた患者の外来、入院診療を行っている。またその際に、高度な専門医療を要する場合には適切な各専門科に紹介させていただいている。さらに、当科以外の各専門科において入院治療を要する患者に対しても、専門科と良好なコミュニケーションを保ち、多角的に相互補完するバランスのとれたチーム医療を実践し、患者の全身管理のサポートを行っている。

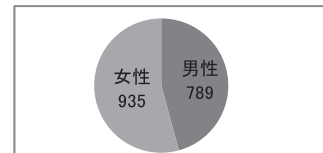
また、輸入感染症の診療も当科の重要な任務の1つである。特に当院は、厚生労働大臣指定の我が国で4か所の特定感染症指定医療機関の1つであり、西日本では唯一である。当科にて感染症センターに入院された患者の診療を行っている。

2013年4月、りんくう総合医療センターと泉州救命救急センターがひとつの病院として統合した。救命救急センターとの相互連携を深め、救急医療を含む総合診療と高度な専門医療とが多角的に相互補完する、これからの地域医療を支える新たな診療体系の構築を目標に、総合診療の強化を目指している。

ー実績ー

◆外来初診患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	55	61	70	62	92	55	79	63	68	69	50	65	789
女性	73	81	82	89	81	63	77	81	66	69	88	85	935
合計	128	142	152	151	173	118	156	144	134	138	138	150	1,724

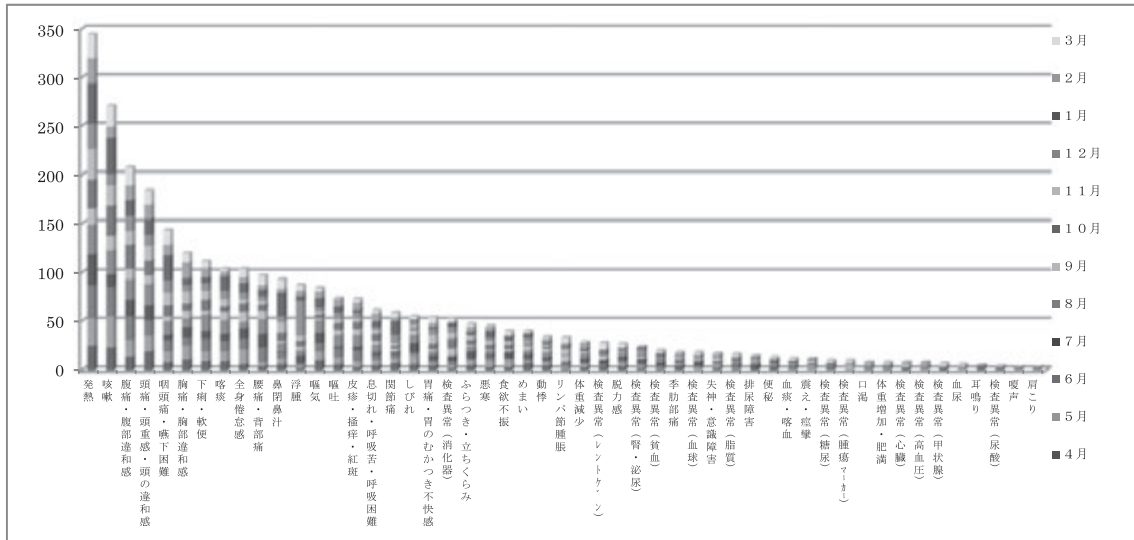


◆入院患者数

新入院患者数												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
8	10	11	13	11	9	17	8	9	5	10	13	124

延べ入院患者数												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
177	220	286	328	231	330	379	316	320	507	268	264	3,626

初診時主訴数一覧													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
発熱	25	28	34	32	30	17	29	32	25	42	26	24	344
咳嗽	23	32	30	13	25	15	31	20	12	37	11	22	271
喀痰	9	10	11	7	14	9	5	8	8	15	5	3	104
頭痛・頭重感・頭の違和感	19	16	16	15	22	9	15	15	12	16	15	14	184
咽頭痛・嚥下困難	8	11	12	5	14	5	11	13	13	26	10	15	143
鼻閉鼻汁	6	6	6	1	9	2	8	11	6	24	4	10	93
血痰・喀血	0	1	1	1	1	0	2	1	0	2	1	2	12
嗄声	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
耳鳴り	3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	5
食欲不振	3	8	1	6	1	2	5	3	2	3	2	4	40
動悸	5	3	2	3	5	4	2	2	1	2	3	2	34
息切れ・呼吸苦・呼吸困難	5	5	5	3	8	4	7	4	3	6	8	3	61
口渇	0	0	1	0	3	0	1	2	1	0	0	0	8
皮疹・掻痒・紅斑	3	6	11	4	12	6	7	4	6	3	7	4	73
めまい	7	2	3	4	4	5	2	2	4	4	1	2	40
ふらつき・立ちくらみ	5	5	2	7	5	2	5	4	1	3	5	3	47
浮腫	2	2	3	8	5	4	6	5	36	5	5	6	87
全身倦怠感	6	15	11	11	6	11	8	5	6	10	6	9	104
嘔気	10	9	9	10	13	2	4	3	4	10	6	4	84
嘔吐	6	7	9	2	12	5	7	4	7	6	8	1	74
下痢・軟便	9	10	13	8	17	4	11	9	8	6	10	6	111
便秘	4	1	1	0	0	0	0	0	1	3	2	1	13
血尿	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	2	6
排尿障害	1	0	0	5	1	1	1	1	3	1	0	0	14
しびれ	6	9	3	10	8	5	2	3	4	1	1	3	55
失神・意識障害	2	1	0	0	2	1	3	4	0	1	2	1	17
震え・痙攣	0	2	0	0	2	1	2	3	0	1	1	0	12
脱力感	4	3	3	4	1	1	2	2	0	2	1	4	27
体重増加・肥満	0	0	1	0	3	0	0	0	0	1	1	2	8
体重減少	3	3	2	4	5	2	4	2	1	1	0	2	29
肩こり	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
悪寒	3	7	4	2	4	1	5	4	3	7	4	1	45
腹痛・腹部違和感	14	17	24	17	21	11	24	14	16	16	15	19	208
胸痛・胸部違和感	11	14	8	11	9	8	7	12	7	7	16	10	120
腰痛・背部痛	4	4	15	14	15	9	6	4	5	6	5	10	97
季肋部痛	5	2	1	1	1	0	1	2	2	0	2	1	18
関節痛	7	5	4	2	1	3	3	3	8	14	4	5	59
胃痛・胃のむかつき不快感	5	2	3	5	4	2	6	9	6	2	4	6	54
リンパ節腫脹	1	2	3	1	2	6	1	5	2	2	3	5	33
検査異常（消化器）	2	3	4	5	1	7	10	6	6	4	1	4	53
検査異常（腎・泌尿）	2	2	3	4	1	2	2	1	4	2	1	0	24
検査異常（心臓）	1	0	0	1	1	0	0	3	0	0	2	0	8
検査異常（高血圧）	0	1	0	0	1	0	2	2	2	0	0	0	8
検査異常（甲状腺）	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	1	2	7
検査異常（糖尿）	0	1	0	2	1	0	1	0	1	1	1	2	10
検査異常（脂質）	1	1	2	2	1	1	4	0	1	0	1	2	16
検査異常（尿酸）	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4
検査異常（血球）	0	2	2	5	0	1	1	2	0	2	0	3	18
検査異常（貧血）	1	1	2	4	2	0	2	1	0	3	2	2	20
検査異常（腫瘍マーカー）	0	0	0	0	1	3	1	1	0	0	2	2	10
検査異常（レントゲン）	4	0	2	4	1	4	3	0	1	1	1	7	28



A 循環器系		C 消化器系		D 泌尿器系		F 膠原病・自己免疫		I 精神疾患		N 感染症		O 皮膚	
高血圧症	20	大腸ポリープ	10	尿路結石	15	リウマチ性多発筋痛症	4	自律神経失調症	4	感冒・上気道炎	46	口唇ヘルペス	3
心不全	4	胃潰瘍	7	腎萎縮	2	関節リウマチ	1	うつ	2	咽頭炎	10	単純ヘルペス	3
陳旧性心筋梗塞	1	痔核	1	腎結石症	3	シェンラインヘルンホ家斑病	2	心身症	1	急性副鼻腔炎	6	接触性皮膚炎	1
動脈硬化症	3	アルコール性肝障害	4	ネフローゼ症候群	1	ペーチェット病	1	不安神経症	1	インフルエンザ	25	尋麻疹	8
深部静脈血栓症	3	胆石症	2	腎機能低下	2	側頭動脈炎	1	過敏気症候群	1	A型	21	皮膚炎	3
心房細動	2	胃ポリープ	6	慢性糸球体腎炎	1	レイノー現象	1	強迫性障害	1	B型	3	紅皮症	1
洞性頻脈	1	小腸炎	2	腎臓癌	1	多発性筋炎	1	J アレルギー		扁桃炎	11	アレルギー性皮膚炎	1
上室性期外収縮	2	憩室炎	8	水腎症	1	G 筋骨格系		薬剤副作用	2	肺炎	65	P その他	
肺塞栓症	1	ピロリ菌感染症	10	シクロスポリン腎症	1	肋間神経痛	4	薬剤性皮膚疹	3	誤嚥性肺炎	2	起立性調節障害	1
非持続性心室頻拍	1	逆流性食道炎	22	腎不全	2	頸椎症	6	造影剤アレルギー	1	マイコプラズマ肺炎	2	熱中症	4
たこつぼ型心筋症	1	胆嚢ポリープ	4	IgA腎症	1	脊柱管狭窄症	3	薬剤性肝障害	3	間質性肺炎	3	脱水症	5
内頸動脈瘤	2	十二指腸炎	2	前立腺炎	1	胸腰椎圧迫骨折	1	食物アレルギー	3	肺炎球菌肺炎	5	ペーカー囊胞	1
B 呼吸器系		十二指腸潰瘍	2	精巣炎	1	肩甲下筋腱炎	1	アレルギー性鼻炎	1	インフルエンザ併発肺炎	5	菊池病	1
気管支炎	15	胆嚢炎	2	精巣上体炎	1	滑膜炎	1	K 外傷性		ウイルス感染症疑い	29	三叉神経痛	1
咳嗽	49	膵石症	1	尿路感染症	44	腰椎すべり症	2	なし		伝染性単核球症	15	子宮内膜異型増殖症	1
喘息	17	膵嚢胞性腫瘍	4	(腎盂腎炎・膀胱炎)		頸椎捻挫	2	L 癌・腫瘍		帯状疱疹	11	眼瞼下垂症	2
肺気腫	2	自己免疫性肝炎	1	E 脳神経系		頸椎椎間板ヘルニア	1	胃癌	2	梅毒	2	本態性振戦	1
気管支拡張症	2	膵のう胞	1	片頭痛	6	肋骨骨折	1	肺癌	10	蜂窩織炎	17	舌痛症	1
奇形脈管	1	大腸炎	1	緊張性頭痛	1	橈骨神経麻痺	4	胆管癌	1	急性胃腸炎	54	マクロCPK血症	1
呼吸機能低下	2	肝腫瘍	1	脳動脈瘤	1	脊髄関節症	1	食道癌	1	カンビロバクター肺炎	2	粉瘤	2
肺化膿症	1	胃炎	42	脳梗塞	2	H 内分泌・代謝系		肝臓癌	2	サルモネラ菌感染症	1	脂肪腫	1
胸水貯留	1	急性胃炎	5	動眼神経麻痺	1	甲状腺機能亢進症	9	大腸癌	2	鎌感染性関節炎	1	亜鉛欠乏症	1
癌性胸水	1	慢性胃炎・萎縮性胃炎	27	高次機能障害	2	無痛性甲状腺炎	1	乳癌	3	HIV感染症	1	偽痛風	1
慢性閉塞性肺疾患	1	腸重積	1	脳動脈狭窄	1	糖尿病	18	原発不明癌	2	腸結核疑い	1	起立性低血圧	2
縦隔気腫	1	食道裂孔ヘルニア	17	末梢神経障害	1	痛風	9	前立腺癌	1	日本紅斑熱	1	耳下腺炎疑い	1
サルコイドーシス	1	食道がんジダ症	1	顔面麻痺	3	脂質異常症	2	甲状腺腫	5	腎臓癌感染	1	顎下腺炎	1
拘束性換気障害	1	虫垂炎	6	動脈硬化症	3	高尿酸血症	12	頭部皮膚腫瘍	1	感染性心内膜炎	1	ナルコレプシー疑い	1
		便秘症	8	パーキンソン病	1	原発性アルドステロン症	2	鼠径部皮下軟部腫瘍	1	胸膜炎	1	乳腺炎	1
		潰瘍性大腸炎	1	ウェルニッケ脳症	1	低血糖発作	1	腹膜炎悪性腫瘍	1	ウイルス性筋痛症疑い	1	卵巣出血	1
		過敏性腸症候群	2	脳出血後症候性てんかん	1	橋本病(慢性甲状腺炎)	2	M 血液・造血器		肺結核	1	LOH症候群	1
		大腸憩室症	1	慢性硬膜下血腫	1	高コレステロール血症	1	鉄欠乏性貧血	21	菌血症	8	卵巣嚢腫	1
		脂肪肝	16	痙攣性対麻痺	1	亜急性甲状腺炎	1	悪性リンパ腫	2	透析者下痢症	5	横紋筋溶解症	1
		肝血管腫	1	ラクナ梗塞	2	潜在性甲状腺機能低下症	2	リンパ節炎	7	アノーバ赤痢	2		
		回腸末端炎	1	フレネルク症候群	1			骨髄異形成症候群	2	ウイルス性髄膜炎	1		
		蜂窩織炎性虫垂炎	1					急性骨髄性白血病	1	結核性胸膜炎	1		
		慢性肺炎	1					多発性骨髄腫	1	百日咳	1		
		癌性腹膜炎	1					多血症	1	クラミジア尿道炎	1		
								濾胞性リンパ腫	1	日本海裂頭条虫症	1		
								汎血球減少症	1	人咬傷	1		
								骨髄炎	1	動物咬傷	6		
								ホジキンリンパ腫	1				

—今年度の成果と反省点—

他診療科からの特に感染症診療についてのコンサルト件数の増加が認められた。当科医師はICT(Infection Control Team)およびAST(Antimicrobial Stewardship Team)活動を担っており、その活動については院内感染対策室の項に記載した。ICU/CCU入室の重症患者についても、主科の医師と協議し抗菌薬などの治療について検討するなど抗菌薬の適正使用の周知、徹底に努め、不適切使用はほとんど認められていない。

—来年度への抱負—

地域からご紹介などの診断困難症例、不明熱、重症感染症患者の治療にさらに尽力していきたい。また、他診療科とのさらなるコミュニケーションを図り、感染症診療においては今後も引き続き抗菌薬の適正使用に努めたい。

さらに、講演、学会発表、学術論文の作成など研究活動に一層力を入れていきたい。